



躍動

つくる（創造）みかく（実践）

帯広市立帯広第二中学校通信

平成28年7月15日発行

サッカー一部が十勝の頂点に

本校サッカー一部は、7月2日・3日・9日と行われた、全十勝中体連夏季大会で、悲願の優勝を果たしました。十勝大会では、昨年の秋季大会と今年の春季大会の2大会続けて決勝で敗れ、苦汁を飲まされていたので、最後の最後で最高に嬉しい優勝となりました。冬の走り込み、ストレッチから真剣に練習に取り組む姿勢、心のこもった挨拶など、部員一人一人の自覚と精神力の勝利だと思います。



準決勝の浦幌中戦と決勝の南町中戦では一進一退の攻防戦となりましたが、集中力を切らさない最高のゲームを展開してくれました。また、準決勝では試合後の挨拶で足を痛め動けない相手選手に肩を貸し、ピッチ中央まで介護しながら歩く「心優しい」選手達の姿も目にすることができました。試合を超えた敵味方の分け隔てない熱い友情にも感動的一幕がありました。

今度は十勝の代表として、8月2日（火）～4日（木）に芦別市で行われる全道大会に出場します。試合に敗れピッチで涙した選手達の分まで、自分を信じ仲間を信じて、強い気持ちを持って戦ってきて欲しいと思います。



2年生が自然体験学習を行いました

2年生が7月6日（水）に、北愛国広場で自然体験学習を行いました。生憎の天気で小雨降る中ではありますが、子どもたちは元気いっぱい野外炊飯やソーセージ・バター作り、糸つむぎを体験しました。普段、学校では経験できない作業にハラハラ・ドキドキでしたが、徐々に要領を覚え、それぞれ楽しい体験となりました。



3年生がプランターを設置しました

毎年行っているプランターの設置を、7月6日（水）に3年生が行いました。プランターには、ノーマライゼーションの標語が貼られていて、校区のあちこちで見ることができます。地域の方々的心里に届くプランターになってくれると嬉しく思います。

注：ノーマライゼーションとは直訳すると「正常化する」という意味です。障害者の生活を向上させること。高齢者・女性など、社会的弱者への適用。競争社会から共生社会へ。大規模入所施設から地域ケアへと変換を図ることを目的としています。西帯広地区にはNR推進協議会といって、これらの活動を推進している組織が様々な取り組みをしています。

